

# 妙安寺だより 387

## 神道と仏教(日蓮宗)とお通夜の違い

9月4日、住職の中学校の同級生が、満44歳で逝去いたしました。

5日お通夜との連絡を受け、お顔を拝見できるのはお通夜だろう、と考え、お通夜に参列致しました。

仏式であろうと思い、お坊さんの格好（お盆回りの衣）で行きましたが、記帳して会場に入ってビックリ、祭壇に鏡が祀ってあるではないですか！そうです、神道での通夜・葬儀だったのです。

「しまった！」と思いつつも、「お坊さんだからいいか」「勉強させてもらおう」と思い、失礼ながら、仏教と比較しながら、参列いたしました。今回は、その経験をもとに、比較をしてみます。

### ①合掌がない

日蓮宗に限らず、仏教の通夜・葬儀での導師の入退場の際には合掌します。

神道では、をれて祭主（神官）を迎え、送ります。式中、合掌は一切しません。

### ②がない

仏教ではお焼香を致します。の香りによって道場をし、亡き方の供養をします。

神道では、をけ、2礼2拍手1礼をして供養します。その際の拍手は音をたてずに行います。

大きな違いは上記の2点ですが、神道の特徴的な事は

①戒名がなく、俗名に「～」となる

②をあげる

③ご遺体に対する儀式を行う時は、暗転して何をしているか見せない。「～之命」となったから

に  
は神様になったので、その姿を見せないようにする。

通夜式後、お顔を拝見し、声には出さず、心の中でお題目をお唱えして送りました。

## \*地涌の声・功德主 募集

平成29年の「地涌の声・功德主」を募集します。ご希望の方は、希望月ならびに1カ月5,000円を添えて申込ください。

\*平成28年度の護持会会費の未納の方は、納入の程、よろしく申し上げます。

護持会の会計年度は、1月～12月になっております。